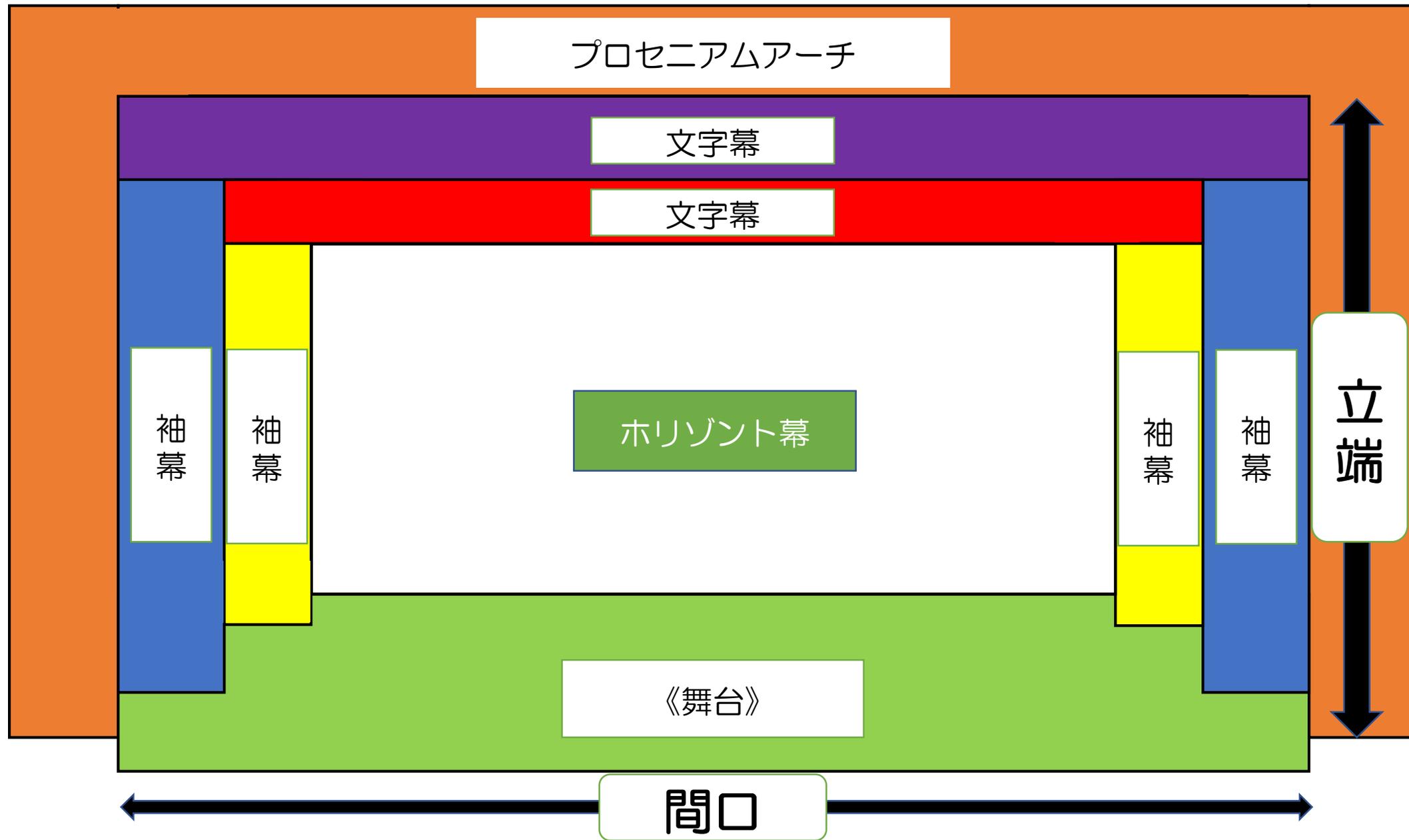


令和5年度
舞台技術講習会
『舞台の「い」?!』

令和5年7月15日
八代市鏡文化センター

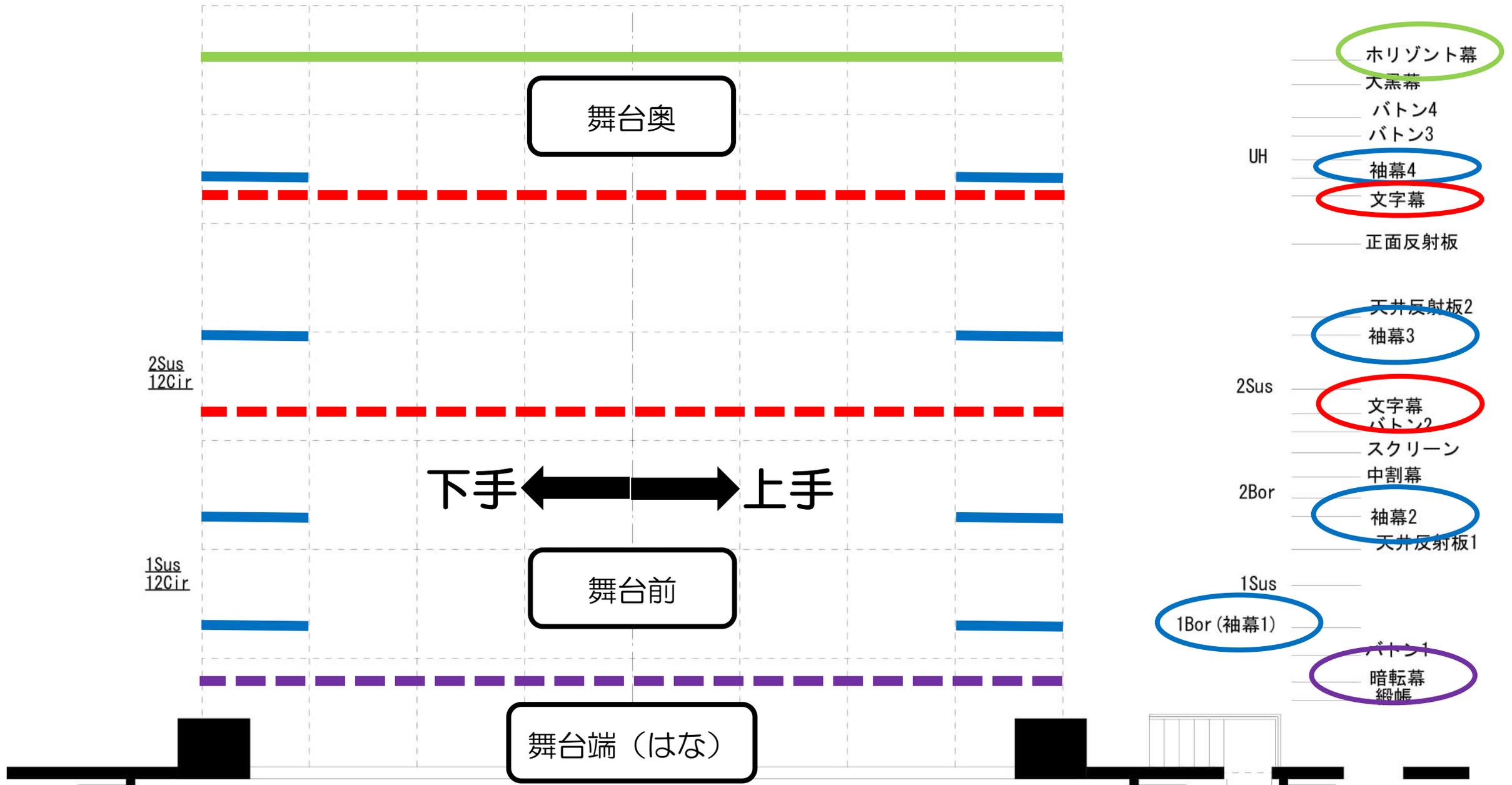
草原俊寛 秋吉藍羽

《舞台を客席から見ると》



《舞台を上から見ると》

鏡町文化センター舞台平面図



『舞台監督』

『大道具』

『照明』

『音響』

とは？

高校演劇「大会」で 『舞台監督』とは？

「キッカケの合図を送る舞台進行の仕事」

「舞台技術の統括の仕事」

例) 打合せ会で「舞台美術」「飾り位置」を説明する。

例) リハーサルで舞台美術を飾る「位置」を指示する。

例) 大会で「まもなく、緞帳UPです。」

「（緞帳UP）どうぞ。」とCueを出す。

高校演劇「大会」で 『大道具』とは？

「舞台装置デザイン」

「舞台装置の設置」

例) 大会までに「舞台装置」を完成させる。

例) リハーサルや本番で「舞台装置」を飾る・ばらす。

例) 本番中、場転（場面転換）を行う。

高校演劇「大会」で 『照明』とは？

「照明デザイン」

「照明オペレーター」

例) 「場の明かり」を考える。

例) 打合せ会で「場の明かり」を伝える。

例) リハーサルや本番でCueに合わせて「舞台照明」
を変える操作を行う。

高校演劇「大会」で 『音響』とは？

「音響デザイン」

「音響オペレーター」

例) 「場」で流す「効果音」を考える。

例) 打合せ会で『場で流す「効果音」』を伝える。

例) リハーサルや本番でCueに合わせて「効果音」
を流す操作を行う。

舞台上での
注意事項は？

「安全第一」

「品質保持」

「安全第一」とは？

「走らない」

⇒人に対して「凶器」になるものがある。

⇒平台に躓く。ほかの作業者とぶつかる。

「しっかり持って」運ぶ

例) 平台は重い。⇒落とすと大ケガする。

会館スタッフの方に運び方を
習って運ぶ。

ほかの「安全第一」とは？

「高所作業」…脚立⇒転倒することがある。



複数人で脚立の「転倒」や
作業者の「転落」防止のためサポートする。

「美術バトン」…昇降中は、人はバトンの下を潜らない。
また大道具の「立端」によってはバトンの下に置かない。

「品質保持」とは？

「舞台床」…出演者は「裸足」になることがある。

「ケガ防止」のため必要。

例) テープを貼る前に、

貼ることが可能か会館スタッフの方に確認。
剥がすときは、床が剥がれないよう慎重に。

「雑音・騒音」…舞台袖の音が客席に漏れないように。

また、リハーサル中…安全管理上
いろんな指示が行われているときは
サウンドチェックを控える。

舞台上での 禁止事項は？

「火災予防上」

- 火気(裸火)の使用禁止
- 危険物の持ち込み禁止

※規制基準は、都道府県の市町村の
消防本部によって異なる。

● 「火気(裸火)」とは？

1. 炎や花火のでるもの（ガス・石油・個体燃料など）
例）ろうそく・煙草・線香・火薬・クラッカー
石油ストーブ・ガスコンロなど
2. 発熱部が露出しているもの（電気器具など）
例）電気コンロ（ドライヤー・ホットプレート
・トースターは非該当）

●「危険物」とは？

例) おもちゃの花火・クラッカー・火薬・
ガソリン・灯油・アルコール・LPGガス・
カートリッジボンベ など

「台組」とは？

日本の舞台道具には、積み木のように幾つかの標準寸法の台がある。これを組み合わせて、様々な大きさの台を組み立てる。

日本の大道具の寸法は分（ぶん）、寸（すん）、尺（しゃく）、間（けん）の尺貫法による。

1分 \div 0.303cm、1寸=10分 \div 3.03cm

1尺=10寸 \div 30.3cm、1間=6尺 \div 181.8cm

「台組」とは？（その二）

山台は、箱馬（はこうま）と平台（ひらだい）、
開き脚[開足]（ひらきあし）という大道具を
組み合わせて、様々な大きさ、形の台を組
みたてたものである。

山台の周りを囲むものを「蹴込み（けこみ）」という。

※山台は、元々、歌舞伎で山の絵を描いた板や黒い板、
赤色（緋）や青色（紺）などの布[毛氈（もうせん）]
で、周りを囲って使用する。

「台組」での「大道具」

1. 「箱馬」
2. 「開脚」
3. 「平台」

この解説は、本日配布の
令和3年度 舞台技術講習会
高校生のための舞台用語集（改訂第六版） p.5参照

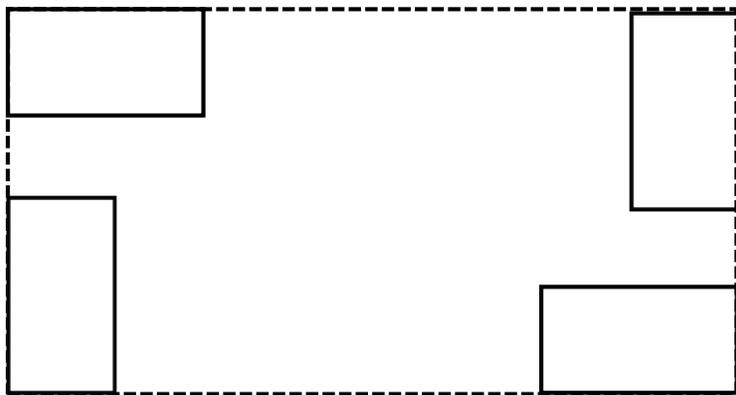
「高さ」の違う山台の「呼び方」と「つくり方」

1. ベた ＝平台だけを使用する。
2. 尺高 ＝箱馬の高さを6寸にして、その上に
 平台を載せて1尺高にする。
3. 尺4寸 ＝箱馬の高さを1尺にして、その上に
 平台を載せて1尺4寸高にする。
4. 2尺1寸 ＝中足の上に平台を載せる。
5. 2尺4寸 ＝高足の上に平台を載せる。

山台の「組み方」

基本

箱馬は、平台の四カ所に置いて、その上に平台を載せる。箱馬は、方向を変えておくと、倒れにくくなる。

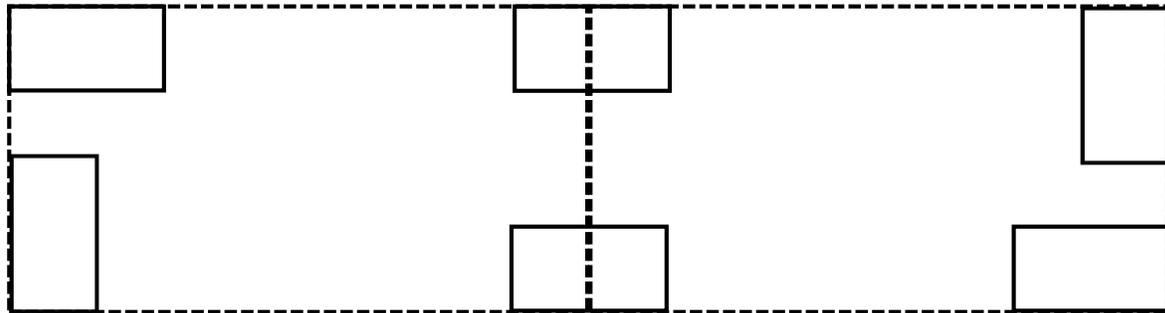


※多くの人物が乗る時、中間に支持（箱馬など）をいれる。

山台の「組み方」

合い掛け[相掛け]（あいがけ）

- 平台を繋ぐ部分の箱馬を共有して組み立てる。
- 一つの箱馬を二枚の平台で利用するので、このように呼ぶ。



※二枚の平台は「掴み」で固定し、一枚の台として機能させる。

※台の上で激しく動くときは、平台と箱馬を小割で繋ぐ。

「パネル」？！

1. 「直角」をきちんととる。
⇒二枚を繋げたとき、隙間が空かない。
※隙間が気になる⇒ガムテープで目張りする。
2. 二枚をどのように繋げる？
⇒小割で繋げる。またはクランプで繋げる。
3. パネルをどのように立てる？
⇒「人形」を使う。
☆ガムテープ、小割、人形は、自分たちで準備する！

参考資料

1. 日本劇場技術者連盟「第1種劇場技術者検定教本」
2. 「THE STAFF ザ・スタッフ舞台監督の仕事」
伊藤弘成著 晩成書房刊
3. その他、様々なサイトを参考にしました。

綱 領



われわれが高校演劇を行うのは、それを通じて人間性を探求しわれわれの人格を完成すると共に高校生の教養文化向上のために有効な方法であると信ずるからである。